

編集後記

今月号の特集は「けんせつ小町活躍現場見学会」。今回は現場で活躍するけんせつ小町にスポットを当てた内容になっています。事前準備の様子や出勤時の私服姿まで、見学会の舞台裏に密着しました。また、今年度から初の試みとなる参加者による絵日記も掲載しています。ページ構成の都合上、すべてを掲載することはできませんでしたが、子供たちの建設現場での思い出を楽しみながら読んでいただければ幸いです。(K)

真夏の過酷な暑さを表す言葉には、猛暑や酷暑だけでなく、極暑や激暑、炎暑なんてものもあるそうです。字面からも暑苦しさが漂ってくるようです。今夏は複数の地域で40℃を超える記録的な猛暑となりました。

今年の「けんせつ小町活躍現場見学会」は厳しい暑さのなかでの開催となりましたが、熱中症を心配する大人たちをよそに、子どもたちは元気いっぱい！ たくさん笑顔がはじける見学会になりました。夏の暑さとともに記憶に刻まれ、忘れられない一日になったのではないのでしょうか。(I)

発行 一般社団法人 日本建設業連合会
〒104-0032
東京都中央区八丁堀2-5-1
東京建設会館
TEL 03-3553-4095
FAX 03-3551-4954
URL <http://www.nikkenren.com/>

発行者 山本徳治
企画・編集 一般社団法人 日本建設業連合会
広報委員会
制作 株式会社Kプロビジョン
デザイン 株式会社コンセント
印刷 株式会社耕文社

©2018 日本建設業連合会
「ACe建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

平成30年7月豪雨災害の 義援金を拠出

日建連は8月31日、平成30年7月豪雨災害の被災者支援のため、法人会員から寄せられた義援金100,875,540円を日本赤十字社に拠出するとともに、目録にして手渡しました。

義援金は、7月23日開催の理事会において、1億円を目標に拠出することを決定し、同日付で法人会員141社に協力を要請したものです。

このほか、別途、日建連会員が地方自治体や他団体等を通じて拠出した金額87,822,000円を合算すると、義援金の総額は188,697,540円となります。

日建連は、発災当初から本部および関係する支部に災害対策に必要な体制を構築し、国土交通省等の要請に応じて、復旧工事や土嚢袋等の調達、生活用水の配送支援のための散水車の派遣斡旋など、会員企業と連携して、災害復旧活動にも協力しています。



見澤泉日本赤十字社事業局長に義援金の目録を手渡す
原田健日建連常務執行役

お
知
ら
せ